

令和2年度 4月の待機児童数について

資料4-2

1 保育所待機児童数・空待ち児童数の状況

調査時点	定員総数	全申込児童数	保育所等利用児童数	(A)のうち保育所等を利用できなかった児童数	(C)のうち空待ち児童数	(C)のうち企業型利用	(C)のうち待機児童数	算出区域数
		(A)	(B)	(C) = (A) - (B)	(D)	(E)	(F)	
H27.4.1	11,024	11,223	11,059	164	164	0	0	6区域
H28.4.1	11,141	11,351	11,172	179	115	0	64	6区域
H29.4.1	11,831	11,904	11,729	175	147	0	28	6区域
H30.4.1	12,100	12,105	11,964	141	81	4	56	14区域
H31.4.1	12,361	12,292	12,134	158	104	11	43	14区域
R2.4.1	12,403	12,294	12,172	122	89	19	14	8区域

(備考)

- ① (B)の値は、調査時点において、保育所等を利用している児童の数
- ② (C)の値は、全申込児童数(A)から保育所等利用児童数(B)を差し引いた児童の数
- ③ (D)の値は、他に利用可能な保育所等があるにも関わらず、特定の保育所等を希望し、保護者の私的な理由により待機している、いわゆる「空待ち児童」の数
- ④ (E)の値は、企業主導型保育事業を利用している児童の数
- ⑤ (F)の値は、待ち児童には当たらず、空きがないために待機となった児童の数

○平成29年度以前は市内を6区域に分けて待機児童数を算出。
 ○平成30年～31年度は、教育・保育提供区域(14区域)で算出。
 ○令和2年度は、教育・保育提供区域(8区域)で算出。

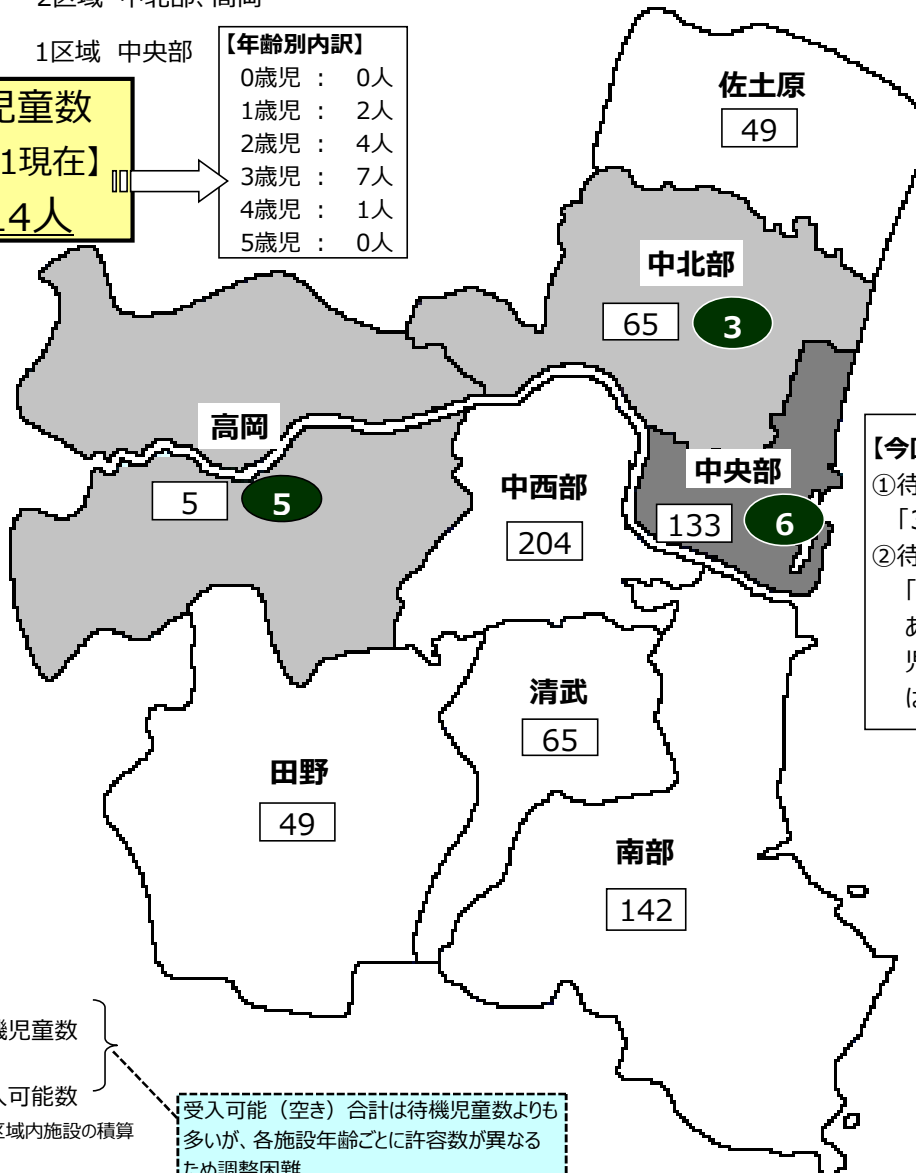
2 教育・保育提供区域毎の状況

- なし** 5区域 中西部、南部、佐土原、田野、清武
- 1～5人** 2区域 中北部、高岡
- 6人以上** 1区域 中央部

待機児童数
 【R2.4.1現在】
 計 14人

【年齢別内訳】

0歳児	0人
1歳児	2人
2歳児	4人
3歳児	7人
4歳児	1人
5歳児	0人



【今回の特徴】

- ①待機児童の約半数は「3歳児」
- ②待機児童数は「中央部」「中北部」で減少傾向にあるものの、昨年待機児童が発生した「高岡」は昨年から継続して5名

14 ..待機児童数
 712 ..受入可能数
 ※区域内施設の積算

受入可能(空き)合計は待機児童数よりも多いが、各施設年齢ごとに許容数が異なるため調整困難。